

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-520031(P2004-520031A)
 【公表日】平成16年7月8日(2004.7.8)
 【年通号数】公開・登録公報2004-026
 【出願番号】特願2002-555832(P2002-555832)
 【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09
 A 6 1 K 38/21
 A 6 1 K 38/22
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 43/00
 C 0 7 K 19/00
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 N 5/10
 C 1 2 P 21/02

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 C 0 7 K 19/00
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 P 21/02 C
 C 1 2 N 5/00 A
 A 6 1 K 37/24
 A 6 1 K 37/66 H

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月5日(2005.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薬学的活性蛋白質への潜在性の提供に使用するための、TGF -1、2、3、4、または5の潜在性関連ペプチド(LAP)とマトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位とを含む融合蛋白質。

【請求項2】

潜在型薬学的活性蛋白質の部位特異的活性化の提供に使用するための、TGF -1、2、3、4、または5の潜在性関連ペプチド(LAP)とマトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位とを含む融合蛋白質。

【請求項3】

MMP切断部位が、MMP1、MMP2、MMP3、MMP7、MMP8、MMP9、またはMMP10から選択されるマトリクスメタロプロテイナーゼによって開裂する、請求項1または2記載の融合蛋白質。

【請求項4】

薬学的活性蛋白質が、増殖因子、分化因子、サイトカイン、ケモカイン、栄養因子、サイトカイン阻害剤、サイトカイン受容体、フリーラジカルスクャベンジャー酵素、プロドラッグ変換酵素、ペプチド模倣体、プロテアーゼ阻害剤、メタロプロテイナーゼ組織阻害剤、またはセリンプロテアーゼ阻害剤である、使用を目的とした請求項1~3のいずれか一項記載の融合蛋白質。

【請求項5】

サイトカインがインターロイキンまたはインターフェロンである、使用を目的とした請求項4記載の融合蛋白質。

【請求項6】

潜在型TGF 結合蛋白質に会合している、使用を目的とした請求項1~5のいずれか一項記載の融合蛋白質。

【請求項7】

マトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位をコードする核酸配列が第一の核酸配列と第二の核酸配列との間に提供される、薬学的活性蛋白質をコードする第一の核酸配列とTGF -1、2、3、4、または5のLAPをコードする第二の核酸配列とを含む核酸構築物。

【請求項8】

MMP切断部位が、MMP1、MMP2、MMP3、MMP7、MMP8、MMP9、またはMMP10から選択されるマトリクスメタロプロテイナーゼによって開裂する、請求項7記載の核酸構築物。

【請求項9】

薬学的活性蛋白質が、増殖因子、分化因子、サイトカイン、ケモカイン、栄養因子、サイトカイン阻害剤、サイトカイン受容体、フリーラジカルスクャベンジャー酵素、プロドラッグ変換酵素、ペプチド模倣体、プロテアーゼ阻害剤、メタロプロテイナーゼ組織阻害剤、またはセリンプロテアーゼ阻害剤である、請求項7または8記載の核酸構築物。

【請求項10】

サイトカインがインターロイキンまたはインターフェロンである、請求項9記載の核酸構築物。

【請求項11】

第一の核酸配列が蛋白質IFN をコードする、請求項7記載の核酸構築物。

【請求項12】

ベクターの形である、請求項7~11のいずれか一項記載の核酸構築物。

【請求項13】

請求項7~12のいずれか一項記載の核酸構築物を含む細胞。

【請求項14】

請求項7~12のいずれか一項記載の核酸構築物の発現産物であるサイトカイン。

【請求項15】

医学において用いるための請求項7~12のいずれか一項記載の核酸構築物。

【請求項16】

変形性関節炎、強皮症、腎疾患、リウマチ性関節炎、炎症性腸疾患、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、炎症性疾患、または癌を治療するための医用薬剤の製造における請求項7~12のいずれか一項記載の核酸構築物の使用。

【請求項17】

薬学的に許容される担体と請求項7~12のいずれか一項記載の核酸構築物とを含む薬学

的組成物。

【請求項18】

TGF -1、2、3、4、または5のLAPとマトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位とを含む、薬学的活性蛋白質に会合している融合蛋白質。

【請求項19】

宿主細胞における発現による組換え的な融合蛋白質の産生、発現された融合蛋白質の精製、および化学的クロスリンクによる精製融合蛋白質に対する薬学的活性蛋白質の会合を含む、請求項18記載の融合蛋白質を調製するための方法。

【請求項20】

医学において用いられる請求項22記載の融合蛋白質。

【請求項21】

変形性関節炎、強皮症、腎疾患、リウマチ性関節炎、炎症性腸疾患、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、炎症性疾患、または癌を治療するための医用薬剤の製造における請求項18記載の融合蛋白質の使用。

【請求項22】

薬学的に許容される担体と請求項18記載の融合蛋白質とを含む薬学的組成物。

【請求項23】

TGF -1、2、3、4、または5の潜在性関連ペプチド(LAP)とマトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位とを含む融合蛋白質を薬学的活性蛋白質に会合させることを含む、薬学的活性蛋白質に潜在性を提供するインビボでの方法。

【請求項24】

請求項7～12のいずれか一項記載の核酸構築物、または請求項18記載の融合蛋白質、および投与媒体を含む成分のキット。

【請求項25】

TGF -1、2、3、4、または5の潜在性関連ペプチド(LAP)とマトリクスメタロプロテイナーゼ(MMP)蛋白質分解切断部位とを含む、薬学的活性蛋白質に会合している融合蛋白質の、変形性関節炎、強皮症、腎疾患、リウマチ性関節炎、炎症性腸疾患、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、炎症性疾患、または癌を治療するための医用薬剤の製造における使用。